

## 千葉大学校友会報



千葉大学校友会

第2号 2008年9月15日

Newsletter of Alumni Association, Chiba University

## ごあいさつ

千葉大学長 齋藤 康

千葉大学校友会報第2号をお届けします。

大学は本来、教育と研究という分野の成果によってその真価を問うてきたと思います。その本質は今も変わることがないと思っています。しかし過去にもあったように社会の変化により大学もその社会から多くの影響を受け、時には本来の教育も研究もその推進がきわめて難しい時代に遭遇したこともあったことを知ります。しかし常に社会に貢献するという作業を大学が放棄するわけにはまいりません。それどころかそのような社会貢献を果たすためにも本学の卒業生で社会でご活躍されている先輩と大学特に学生は密接なつながりを期待しています。そのような“絆作り”が校友会の大きな目標であると思います。幸いに私どもは先輩の輝かしい足跡を学びながら本学の大学憲章にも謳われている“つねに、より高きものをめざして”進めることができる社会に今生きていると思っています。“学生が主役”を合言葉に街のかたがたとの触れ合い、環境を守る活動、国際交流、など広い分野で学生、教員、職員が一体となって学生の活動を応援しています。このような学生の教育をさらに発展させるために“千葉大学SEEDS基金”の活動があります。教育支援に特化した募金活動であり、母校でがんばっている学生の自主的で積極的なさまざまな活動に対してぜひとも皆様のご支援をお願いいたします。

大学には国、社会、世界から現在国際交流を強く求められています。世界の千葉大学を目指

す上でも重要なことであると思っています。本学では現在約900名の留学生が学んでいます。本学の学生も世界各地の大学や研究所で学ぶ機会を作っています。大学間協定も多く締結して



千葉大学長 齋藤 康

います。学内においてもノーベル賞受賞者などの海外の著名な研究者の講演会や学生との交流会も積極的に行われています。国際語としての英語による授業も行われ、語学のハンデイを超える努力もされています。このように世界で羽ばたく人材の育成に力が注がれています。今年の冬には本学の事務所があります北京で中国のいくつかの大学と研究交流をします。各学部から教員、研究者、学生などの多くの研究発表があり、またその研究を通して優秀な中国の学生や研究者が多く本学で学ぼうとするきっかけになればと願っています。その折に“千葉大学中国校友会”を開催する予定です。

このような大学の動きをいつも知っていただくために、また皆様から貴重なご意見やご示唆をいただく機能としてSNS（Social Networking System）の運用をしています。インターネット上での交流も大いに進めていただきたいと思います。

## 最近の千葉大学

千葉大学の最近の動きをご紹介します。

### ■新司法試験 2年連続輝かしい成績

平成19年度から実施されている新司法試験において、千葉大学大学院専門法務研究科では19年度受験者ベースの合格率(64.52%)・法学未修者の合格率(88.89%)共に全国68法科大学院中第1位でした。また、20年度は受験者ベースの合格率(49.28%)全国74法科大学院中第7位、法学未修者の合格率(50.00%)第1位でした。

### ■千葉大亥鼻イノベーションプラザオープニングセレモニー

大学が有する技術シーズ、知見を活用した大学発ベンチャーの起業及び中小企業等の新事業展開を支援することにより、新事



業・新産業の創出を促進するとともに、地域社会へ貢献することを目的として、独立行政法人中小企業基盤整備機構が本学亥鼻キャンパス内に整備した、「千葉大亥鼻イノベーションプラザ」(通称「千葉大いのはなIP」)のオープニングセレモニーが、平成19年11月7日午後に亥鼻キャンパス内で開催され、同機構、千葉県、千葉市及び本学関係者等約160人が出席して開設を祝いました。

同プラザには既に13の企業・研究者の入居が決まり順次入居を開始しており、今後は本学教員との共同研究により、新規事業が展開されることが期待されています。

### ■保坂高殿准教授(文学部)が日本学士院賞を受賞しました。

日本学士院の第1017回総会(3月12日開催)において、本学の保坂高殿准教授(文学部)が、平成20年度日本学士院賞の授賞者に決定され

ました。日本学士院賞は、学術上特にすぐれた論文、著書その他の研究業績に対する授賞事業であり、日本の学術賞としては最も権威ある賞とされています。

受賞の対象となった業績『ローマ帝政初期のユダヤ・キリスト教迫害』(教文館2003年608頁)は、帝国と教会が衝突する局面に焦点を当てながら、その法的根拠を巡る諸問題を帝国側史料に基づき精緻に分析し、教会側史料を偏重してきた従来のキリスト教中心史観に基づく考察手法に対して根本的再検討を迫る画期的な労作です。

本書が描出するローマ帝政期の歴史像は、帝政後期の対教会政策をも諸皇帝の改宗といった宗教的動機からではなく純粋に政策的観点から考察することで、迫害史を、迫害される側の心理から捉えられた“迫害”史ではなく、帝国統治者側の論理から見た純社会政策史として描き出す道を切り開くものとして高く評価されます。また分析法に関しては、本書は歴史学的方法に限定せず、古典文献学、キリスト教史学、そして聖書学の方法を領域横断的に駆使し、歴史研究における文献学的方法の有用性と重要性をあらためて提示するものでもあります。

授賞式は、本年6月9日、東京・上野の日本学士院会館において天皇皇后両陛下ご臨席のもと挙行されました。

### ■日本環境経営大賞の環境経営部門で本学が「環境経営優秀賞」を受賞しました。

本学が取り組んでいる様々な環境保全活動が『第6回日本環境経営大賞』(主催:日本環境経営大賞表彰委員会・三重県)の「環境経営部門」において「環境経営優秀賞」を受賞しました。

この賞は、環境経営の先駆的な取り組みや優れた成果を表彰し、「環境文化の創造」を促すもので、環境経営と持続可能性、経営トップのコミットメントと環境経営戦略、環境経営方針に基づく

実践体制、組織の事業活動に関わる環境負荷削減の取組と成果が評価基準とされています。

■環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞で  
本学が「公共部門賞」を受賞しました。

本学が昨年発行した「千葉大学環境報告書2007」が、「第11回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞」（共催：(株)東洋経済新報社／グリーンレポーティング・フォーラム）において、「公共部門賞」を受賞しました。この賞は、環境報告書の普及と質の向上を通じて、環境意識や環境情報開示に対する認識を深め、持続可能な社会に向けた産業界・公共部門と市民との対話の発展・促進を目指すものです。

■理数大好き学生の発掘・応援プロジェクト

千葉大学では、新方式の入試「理数大好き学生選抜」をスタートさせます。

千葉大学では、平成10年に「17歳飛び入学(先進科学プログラム)」を創始し、以来、優れた才能の発掘と育成を行ってきました。それに連動し、独自の高大連携をスタートさせたり、高校生対象のサマースクールや数理科学コンクール、高校生理科学研究発表会などを開催してきました。

この度、文部科学省からの支援を受けて、課題研究で優れた成果を上げた高校生が、大学でも継続して研究に取り組めるよう、千葉大学では新しい入試・教育方式『理数大好き学生の発掘・応援プロジェクト』を開始しました。

■薬学部：薬剤師国家試験の合格率が国公立大学の中で第1位となりました。

第93回薬剤師国家試験の合格発表(4月3日)において、本学薬学部の総受験者(新卒者+既卒者)及び新卒者の合格率が、共に国公立17大学の中で第1位となりました。

■今本恒雄名誉教授(大学院理学研究科)、

野田公俊教授(大学院医学研究院)が文部科学大臣表彰の科学技術賞を受賞しました。

この賞は、平成20年度の科学技術に関する研

究開発、理解増進等において、顕著な成果を収めた者の功績を讃えるもので、去る4月15日に表彰式が行われました。

○今本恒雄名誉教授(大学院理学研究科)

開発部門での受賞 業績名：触媒的不斉合成に有用な光学活性ホスフィン配位子の開発

○野田公俊教授(大学院医学研究院)

理解増進部門での受賞 業績名：小中高校生等への微生物学の最新知識の紹介とその理解増進

■医学部附属病院 新病棟(ひがし棟)が5月4日にオープン!

患者さん、病院関係者が待ち望んでいた千葉大学医学部附属病院の「ひがし棟(East Wing)」がいよいよオープンし



医学部附属病院新病棟(ひがし棟)

ました。この「ひがし棟」は、「患者さん中心の医療」「国際標準の病院」「最先端の医療とともに、高度医療を提供する」を基本コンセプトにハードとソフト両面にわたる創意工夫が多彩に息づいています。

絵画や彫刻、さまざまな観葉植物によって快適な空間を創出しています。

■TBSテレビ 日曜劇場「猟奇的な彼女」西千葉キャンパスを舞台に撮影が行われました。

日韓で大ヒットを記録した、映画『猟奇的な彼女』が連続テレビドラマになり、西千葉キャンパスを舞台に撮影が行われました。主演は、SMAPの草彥剛さんと田中麗奈さん。千葉大学を知っていただく良い機会となることを期待して、撮影に協力しました。

■千葉大学教員と地域住民で「ちば地域市民学会」を立ちあげました。

千葉大学の教員と地域住民がまちづくりなどに

取り組もうと「ちば地域市民学会」を立ち上げました。発起人は県内でまちづくりや福祉関係のNPOの代表の方々と千葉大学の教員、OBの40人。会長は千葉大学の前副学長で放送大学の宮崎清特任教授が就任しました。市民のアイデアと大学のノウハウを連携させ、市民が大学と研究したい課題、または大学側が市民と研究したい問題を集め、他地域での同様の取り組みや成功例を分析するなど共同で研究に取り組んでいます。研究成果は、年2回以上発行する機関誌で報告するほか、年1回開催するシンポジウムで発表する予定です。

#### ■循環型地域医療連携システム学（千葉県）寄附講座を設置

医師不足等による地域医療の崩壊が懸念されていますが、このたび千葉県からのご寄附により、本学大学院医学研究院に寄附講座が設置されることとなり、5月28日に協定が締結されました。

#### ■「グローバルCOEプログラム」に2件が採択

文部科学省は6月18日、大学院レベルの優れた教育研究拠点を選んで研究費を重点的に配分する「グローバルCOEプログラム」の審査結果を発表しました。

2年目の今回は、「医学系」「数学、物理学、地球科学」「機械、土木、建築、その他工学」「社会科学」「学際、複合、新領域」の5分野で、国公私立計130大学から315件の申請があり、29大学68件（国立大:21大学55件、私大:8大学13件）が採択されました。

本学で採択されたプログラムは、次の2件です。

- ・医学：免疫システム統御治療学の国際教育研究拠点（拠点リーダー 医学研究院教授・中山俊憲）
- ・物理学：有機エレクトロニクス高度化スクール（拠点リーダー：融合科学研究科教授・上野信雄）

#### ■平成20年度戦略的大学連携支援事業に採択 国公私立大学間の積極的な連携を推進し、地

域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化等を図ることを目的とした事業に、本学を申請大学とした事業が採択されました。神田外語大学、敬愛大学、城西国際大学が連携校です。

○取組名称：ユニバーサルコミュニケーションのための教養教育に向けた千葉圏域コンソーシアム

#### ■サイエンスプロムナードを見学しませんか？

理学系総合研究棟（西千葉キャンパス）にあるサイエンスプロムナードをご存知ですか？



中学生や高校生が教科書で習わないようなもの、最先端の研究にいずれはつながるようなものを想定し、わかりやすく実際にさわって五感に訴えるようなものを展示しています。是非、お立ち寄りください。

・開館日・開館時間：10時～18時（月曜～金曜）  
12時～16時（土曜）

・休館日：日曜日、祝祭日、年末年始

#### ■卒業生室のホームページがオープン

卒業生及び修了生の皆様に、本学の情報発信を積極的かつ効果的に推進することを目的として、このたび卒業生室のHPをオープンしました。

卒業生及び修了生の皆様との絆を深めるために、情報を発信してまいります。是非ともご覧ください。

○ <http://www.chiba-u.ac.jp/graduate/index.html>

—チャレンジを支え、人を育てる基金です—

千葉大学 SEEDS 基金

<http://kikin-chiba-u.jp/>

寄附のお申し込みは、上記ホームページをご覧ください。

## 卒業生便り

千葉大スピリット 海堂 尊

私が千葉大学医学部を卒業したのは、バブル景気まっさかりの一九八八年である。景気の下を肌で感じたのはその二、三年前からだ。一番感じたのは、学生がマイカーを所有するようになったことである。低学年の頃は、車を持っている学生は少なく、よく相乗りをさせてもらった。だが高学年になるとマイカー所有率が上昇し、あろうことかこの私でさえ、五年生の時にスバル・レックスというおんぼろ中古車を手に入れた。医学部亥鼻キャンパスは広く、当時は楽々と車を止められたが、三年後、医師として大学病院に勤務した頃は、構内で駐車場を探すのにいつも苦勞していた。

\*

新旧交代が激しい時代で、剣道部だった私は旧道場で稽古に励んでいたが、その道場が取り壊され新体育館が建設された。旧道場は、かろうじて試合コートひとつ分がとれる小さな道場で、とてもぼろかったが、春の夜に宴会をしているとさくらの花びらが杯に舞い降りたりしてなかなかの風情があった。あまり懐古趣味のない私だが、あの道場でもう一度稽古をしてみたいという気持ちは時々胸をよぎる。

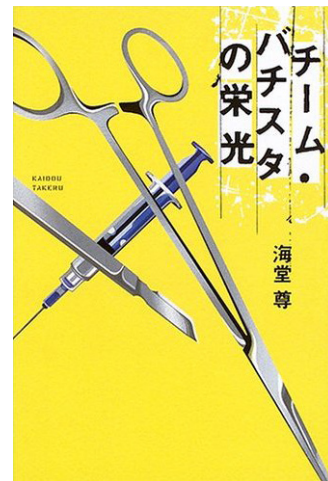


千葉大学旧道場

\*

私が作家になったのは二〇〇六年だが、二年半で十一冊の書籍を上梓した。映画化されたデビュー作『チーム・バチスタの栄光』で『第4回このミステリーがすごい！大賞』を受賞し、その後『ナイチンゲールの沈黙』『螺鈿迷宮』『ジェネラル・ルージュの凱旋』『ブラックペアン一九八八』『夢見る黄金地球儀』『医学のたまご』『ジーンワルツ』『ひかりの剣』そして十一月には宝島社から新刊『イノセント・ゲリラの祝祭』が刊行される。現在は週刊朝日で『極北クレイマー』を連載中。また講談社ブルーバックスから『死因不明社会』を上梓し、第3回科学ジャーナリスト賞を受賞した。思えば遠くにきたものだが、こうした旺盛な創作意欲の土台を支えている一要素に、母校千葉大で過ごした日々という肥沃な土壌があったことは間違いない。

\*



海堂尊著「チーム・バチスタの栄光」カバー

学生時代はサボり魔で、解剖実習と内科診断学、それに病理学だけはコンプリートしたが、それ以外はさぼりまくった。当時の千葉大学医学部の教育はゆったりしていて、自分でゆっくり考える時間を潤沢に与えられていたように思う。劣等生だった私も、母校の先輩が開発した新技術に現場で触れると誇らしい気持ちになった。たとえば肝臓癌の生検を行う特殊な針・オートウ・ニードルを開発した第一内科の大藤教授や、医療現場では必須のアイテム・中心静脈栄養（IVH）を開発した第一外科の真島先生など、実は千葉大学医学部が医療界に誇るべき実績は多い。

\*

成果を誇らない千葉大の態度に、奥ゆかしさと同時に歯がゆさも感じていた。学生時代や研究医の頃に、もっと成果を世にアピールすればいいのに、と感じたことも多かった。

\*

幸か不幸か、そうした奥ゆかしさは現在も脈々と受け継がれている。千葉大学医学部附属病院が達成した、世界に誇るべき業績に、Aiセンターの樹立がある。これは現在の解剖を主体とする死亡時医学検索があまりにプアで社会問題の原因になっている現状の中、その解消のため打ち出された画期的な組織である。東大あたりがこうした組織を新規に立ち上げれば、メディアを使い大々的にアピールするのだろうが、千葉大はごくごく慎ましやかなアピールしかしなかった。結果、世の中の盛り上がりには押され、せっかく厚生労働省がAiに関する日本初の科学研究費をつけたのに、声もかけてもらえず、Aiの研究実績がゼロの東大にかっさらわれてしまった。せちがらい今の世に、謙譲すぎるのも考えものだ。



\*

幸い学術世界の業績は、真理と共に必ず残る。千葉大が世界初のAiセンターを樹立したという業績は決して消えないし、その施設がこれから社会制度基盤になっていくとき、その名を聞くたびに、千葉大の卒業生は誇らしく感じるだろう。ちょうど私が研修医としてさまざまな病院を転戦していた頃に、IVHを見るたびに母校に対する誇らしさを感じたのと同じように。

#### ●海堂尊氏プロフィール

- ・医師（医学博士）、作家
- ・1988年、千葉大学医学部卒。同年、千葉大学第一外科学教室入局。
- ・1997年、千葉大学大学院医学研究科修了。現在、首都圏の研究系病院の病理医として勤務。
- ・2005年、『チームバチスタの栄光』で第4回『このミステリーがすごい！』大賞を受賞。
- ・2006年、同書にてデビュー。同書は映画化、ドラマ化されベストセラーになった。三百万部を突破し、2008年度上半期オリコン売り上げ第一位（文庫本部門）を獲得。その後、二年半で十冊を上梓。最新作は『ひかりの剣』（文藝春秋社）『イノセントゲリラの祝祭』（宝島社）
- ・2008年、講談社ブルーバックス『死因不明社会』にて第3回科学ジャーナリスト賞受賞。

# データでみる千葉大学

最近の千葉大学をデータに基づいてご紹介いたします。

## ■卒業生の推移

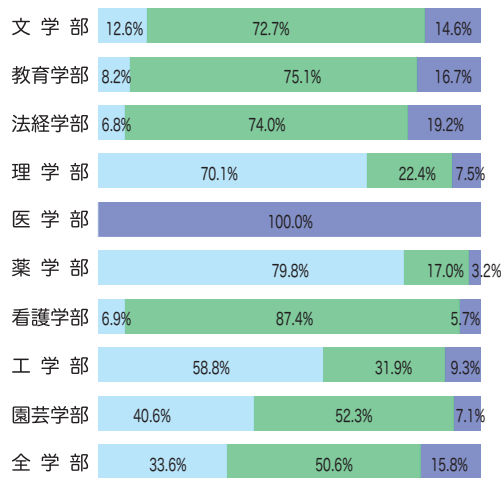
(平成 20 年 3 月 31 日)

年度 学部名等	S25～H9 の計	H10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計
文学部	2,265	225	216	221	197	207	194	187	192	197	198	4,299
教育学部	19,220	554	528	557	530	454	476	449	446	461	462	24,137
法経学部	5,624	451	435	395	423	433	425	396	428	401	396	9,807
理学部	4,106	197	221	209	204	206	211	209	211	213	214	6,201
医学部	4,447	108	98	91	103	86	99	104	109	96	104	5,445
薬学部	3,064	89	84	79	84	81	92	83	88	77	94	3,915
看護学部	1,609	89	89	86	96	84	89	87	88	90	87	2,494
工学部	20,979	793	783	862	816	767	737	772	740	779	747	28,775
園芸学部	7,095	231	222	218	211	221	215	194	213	211	197	9,228
文理学部	2,051											2,051
人文学部	2,667											2,667
合計	73,127	2,737	2,676	2,718	2,664	2,539	2,538	2,481	2,515	2,525	2,499	99,019
教育学部2年課程	2,101											

## ■平成 19 年度卒業生の進路

(平成 20 年 5 月 1 日現在)

学部	文学部	教育学部	法経学部	理学部	医学部	薬学部	看護学部	工学部	園芸学部	計
大学院 研究科	25 11	34 13	26 5	150 40		75 40	6 6	437 67	80 39	833 221
進 学部(本科)			1 1					2		3 1
短大(本科)										
専攻科・別科		4 3								4 3
小計	25 11	38 16	27 6	150 40		75 40	6 6	439 67	80 39	840 225
就職者	144 100	347 239	293 99	48 14		16 9	76 71	238 65	103 54	1,265 651
臨床研修医 (予定者を含む)					103 38					103 38
専修学校・外国 の学校等入学者	7 5	1	4				5 5	2		19 10
一時的な職に 就いた者	5 1	1	1	1 1						8 2
上記以外の者	17 6	75 47	71 21	15 4	1 1	3	68 15	14 10	14 10	264 104
合計	198 123	462 302	396 126	214 59	104 39	94 49	87 82	747 147	197 103	2,499 1,030



進学者 就職者 その他

(備考) 1. 下段は、女子を内数で示す。  
2. 本表中「上記以外の者」とは、基本調査 2-1 の「左記以外の者」及び「死亡・不詳の者」をいう。

## ■先進科学プログラム (飛び入学)

千葉大学では、平成 10 年度から、将来の独創的な研究の推進を支える活力をもち、国際的に活躍する個性的な人材を確保するために、個性的で才能豊かな人材が早期に大学教育を受ける機会を提供することを目的として、「先進科学プログラム」を発足させ、物理の関連分野に関心と才能のある生徒を高等学校2年修了した段階で

大学に入学させる、いわゆる「飛び入学」制度を開始しました。平成 20 年度までに 54 名が入学し、7 期生までの 25 名（早期卒業の 8 期生 1 名を含む）が卒業し、国内外の大学院に進学しています。また、平成 19 年 3 月には第 1 期生が博士後期課程を修了し、研究者として活躍しています。

## ■インターネットを利用した同窓会活動

### －法経学部同窓会による取り組み

昨年秋、千葉大学校友会は千葉大学の卒業生・在籍経験者・教職員・在校生を対象としたソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）「Curio」を開設いたしました。千葉大学校友会では、地理的な制約がないというインターネットの利点を最大限に活用することができる「Curio」を通じて、千葉大コミュニティの拡大と活性化を図っていきたいと考えております。ここでは、そのための活動の一例として、法経学部同窓会による取り組みをご紹介します。

法経学部同窓会の会員数は現在 12,000 名超。その居住地は全国（全世界）に散らばっており、現実にはすべての会員に連絡をとることは難しい状況にあります。そのような法経学部同窓会にとって、インターネットが有効な連絡手段・交流手段になり得ることは明らかでしたので、従来からインターネットの活用が検討されてきました。しかし、独自のサイトを開設した場合に生じる管理・運営の負担がネックとなり、具体的なインターネットの活用は進んでいませんでした。特に問題となっていたのは、同窓会サイトを通じた情報提供を行おうとしてもそのための記事掲載には手間がかかるという点と、掲示板等を開設してインターネットの上での交流を双方向にした場合に起こり得る「荒らし（同窓会とは無関係な書き込み、情報提供の妨害）」の問題でした。

そこで、千葉大学校友会 SNS「Curio」が問題解決のために活用されることになりました。「Curio」であれば、記事の掲載にあたって特別な技能は必要ありません。通常の電子メールを書くのとはほとんど同じ操作で記事を掲載することができ、掲載された記事の見出しのリストが自動的に作成されます。また、SNS「Curio」を利用できるのは、

あらかじめ登録されている千葉大コミュニティのメンバーだけですので、部外者による「荒らし」が生じる危険性もありません。同窓会メンバーの氏名も掲載することができます。

ただし、「Curio」の中でいかに詳細な情報を提供しても、その内容はインターネットの上では検索することができず、情報提供を行っていることがインターネットの中で広まりません。そこで法経学部同窓会では、「Curio」の中で詳細な情報提供を行っていることを多くの同窓会メンバーに見つけてもらうことを目的としたサイトも新たに立ち上げました。

<http://www.le.chiba-u.ac.jp/dosokai/>

そして、今後は、法経学部同窓会サイトと「Curio」の双方を、以下のような役割分担を設けて活用していくことが計画されています。

- ・同窓会サイト：「Curio」への入会案内と「Curio」で提供されている情報の概要の紹介
- ・「Curio」：総会・理事会の議事内容や参加者などの具体的な情報の提供。掲示板を通じた双方向の交流の促進。

千葉大学校友会 SNS「Curio」の詳細・登録方法については、下記のサイトをご覧ください。

<http://www.chiba-u.ac.jp/sns.htm>



千葉大学校友会報 第2号

2008年9月15日発行

千葉大学校友会

住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

TEL：043-290-2109、3902、3903（内線4040）

FAX：043-284-2550

E-mail:koyukai@office.chiba-u.jp